

お取引先とともに

コーセーは創業より販売店さまとの関係を重視し、共存共栄を目指す経営の実践、お客さまへの親切で丁寧な対応と一緒に実現させていくことを目指してきました。この姿勢は販売チャンネルが多様化してきた現在でも変わりません。また、原材料調達をはじめ、開発・生産・販売・サービスに至る一連の事業プロセスにおける、関係するすべてのお取引先の方々は、何より信頼関係で結ばれた強いパートナーシップが大事であると考えています。

美容技術向上のため 研修・セミナーを開催

コーセーでは、適切なカウンセリングを介して化粧品を販売するために、販売店さまや従業員の方々を対象とした、数多くのセミナーを行っています。2カ月に一度、その時期の肌状態やケアの方法、新商品の内容や使い方について説明するセミナーを実施。また、新規ご契約店や新しく販売担当となった従業員の方々には、肌や美容の基礎知識、メイクアップテクニック、接客マナーといったコース別に幅広いセミナーを実施しています。

さらに「コスメテコルテ」や「プレティア」など、新しいブランドの導入の際には、そのブランドのコンセプトや商品特長の理解促進のために、講座や実習によるきめ細かな研修を実施しています。



化粧品専門店向けブランド「プレティア」の美容セミナーの様子

品質・環境に配慮した 原材料調達を推進

化粧品の原材料や容器の材料の仕入先の企業様に対しては、年に一度、品質・環境配慮に関する方針説明会を開催しています。この会では、品質や環境への配慮を呼びかけるとともに、特に貢献していただいた企業様へ感謝の気持ちを表す表彰を行っています。その一方で、環境に優しい植物由来樹脂など、仕入先さまとの共同開発も積極的に進めており、今後の新商品へ活かしていく計画です。



2010年7月に行われた方針説明会には59社が出席

VOICE

「親愛接遇」を グローバルスタンダードに

株式会社コーセー
セレクトタイプブランド事業部
チェーンオペレーション推進部 美容教育課
城内 淑恵



コーセーが進出している13の国と地域のなかでも、アジア圏を中心に百貨店で接客を行う美容スタッフの教育を行っています。これまで日本で磨いてきたコーセーの接客をグローバルスタンダードとして広げていくため、お客さまを自分の大切な友人のように思い、親身になって接客する、「親愛接遇」をコンセプトとした指導を、台湾で2011年春にいち早く導入しました。

言語や文化が異なる現地スタッフに教育するのは、日本では当たり前のマナーとされることでも、現地では一つひとつ納得してもらえよう説明しなくてはならないなど、さまざまな苦労があります。しかし、研修が進むうちに、スタッフから意欲的な意見や感想が出るようになり、コミュニケーションへの感度が高まっていくのを目にすると、私も手ごたえを感じます。また、早くも百貨店の方からスタッフを表彰したいという申し出をいただき、日本の接客はグローバルに通用するものだ自信を深めています。

地域社会とともに

コーセーは、一企業市民として持続可能な社会を築き、皆さまから必要とされるため、地域社会との調和と共生を重要な課題としてとらえ、環境への負荷を抑制するとともに、障がい者雇用支援や化粧品を通じた社会貢献を進めています。今後も社会で必要とされる企業であるために積極的に活動の場を広げていきたいと考えています。

シンクロ日本代表へのメイクアップ指導

シンクロナイズドスイミング日本代表チーム「マーメイド・ジャパン」に、コーセー専属のメイクアップアーティストが、演目と衣装に合わせたメイクのデザインから、選手へのメイク指導までを行っています。チームでの演技は一体感が重要なため、全員のメイクが遠目から見た時に同じに見えるよう、コーチと共に全員の仕上がりを調整していきます。また、紫外線対策や水中での激しい動きにも崩れにくいように開発されたコーセーの商品を使ってアドバイスを行っています。



試合に向けて、定期的に講習を行い、選手のメイクアップをサポート

全国からの企業訪問学習の 受け入れを実施

コーセー本社には、年間10数校、のべ100名近い学生が訪れます。コーセーでは、学校からの要請で学生を受け入れて、企画から販売まで数多くの人が関わっていることや、安全で高品質の化粧品を提供するために必要なことなどについて説明しています。参加者の多くが中高生で、働く現場に触れることで、自分の将来や進路を考える機会となっているそうです。今後も企業訪問学習を受け入れていく方針です。



障がい者と健常者が一緒になって 化粧品の製造・管理に従事

■(株)アドバンス■

設立から19年、
社員数の約半数の障がい者が活躍

株式会社アドバンスは、化粧品の製造を目的とするコーセーの子会社で、化粧品業界で初めて、全業種では25番目の特例子会社として認可を受けました。現在は、化粧品の充填、包装、仕上げ加工に関する業務を中心に行っています。建物や機械は障がい者の方でも安全に作業できるように設計され、現在、全従業員の約半数の障がい者が活躍しています。



同じ製造ラインで障がい者と健常者が一緒になって業務を遂行

■コーセー化粧品販売(株)秋田受注センター■

従業員が主体的な取り組みを行い
誰もが働きやすい職場へ

秋田受注センターは、全国にあるコーセー化粧品販売株式会社のお取引先さまからの受注とお取引先さまへの売掛業務を行っています。聴覚障がい者の雇用をきっかけに、業務手順の標準化を進めた取り組みが評価され、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の職場改善好事例奨励賞を2008年に受賞。より良い職場環境の整備を進めています。

東日本大震災への対応

このたびの東日本大震災において、コーセーでは、以下の支援などを行いました。

- 1) 3月25日に、日本赤十字社へ義援金1億円を寄託
- 2) 3月30日までに、被災地での要望が高い衛生工ucheツト商品30万個、保湿スキンケア商品3万8千個、生活関連商品1万個を提供

今後も引き続き、被災地の状況に合わせた支援策を検討していきます。